

The illustration features a large globe on the left, showing the Americas in green and blue oceans. To the right, a city skyline with green buildings is visible. The background is a light blue sky with white clouds at the bottom, a white butterfly, and several green leaves floating in the air. The text 'Environment Social Governance' is written in large, white, bold letters with a slight shadow effect.

Environment Social Governance

ESGレポート <2023年度版>

当社のESGの考え方



『情報サービス産業界におけるひとつの**アспект(局面)**の**コア(中心)**として、
経済、社会、文化の創造発展に貢献する』

これが私たちのミッションであり社名の意味です。

企業(経営)は“継続前提”であり財務的視点での持続や成長と併せて、環境や人権、多様性への配慮や雇用の尊重、公正な事業等の責任があり、ステークホルダーからの支持(ES・CS含め)などの、企業としての要件や“質”を調和的に備えていることが常に求められています。

そのために、**企業の社会的責任**を従業員の一人ひとりが認識し、主体的に取り組んでいくことが大切であり、当社は「**Environment(環境)**」「**Social(社会)**」「**Governance(ガバナンス)**」の項目を、組織が優先して取り組むべき重点課題(マテリアリティ)として位置づけ、『**ESG経営**』の取り組みを進めています。

当社のESGの考え方



Environment(環境)

産業革命以降の化石燃料の大量消費や森林伐採などが原因とされている「地球温暖化」は今日的に極めて深刻な状況であり、人類が連携して取り組むべき課題です。

そのために国や地域、行政・企業はそれぞれの立場で行動する必要があり、企業においては経済活動と環境保全をトレードオフな関係としてではなく、事業内容に基づいて統合してコントロールする必要があります。

当社もこうした考え方により「事業活動による排出CO₂削減」と、お客様の環境課題解決としての「商材やサービス提供」の、内部および外部視点に立った活動に取り組んでいます。

Social(社会)

『人を通じた価値提供』
人を単なる資源としてではなく企業にとっての“資本”と捉えること、多様である従業員一人ひとりが自分の強みや能力を最大限に発揮してお客様や社会に付加価値を提供すること、これが当社が大切にしている考え方です。

人的資本の側面ではダイバーシティに取り組み、併せて次世代法に基づく「一般事業主行動計画」を策定し活動に取り組んでいます。

また障がいのある方の雇用促進や実習支援(インターンシップ)受入れに注力しており、それらの成果に対して外部機関から認定や表彰を受けています。

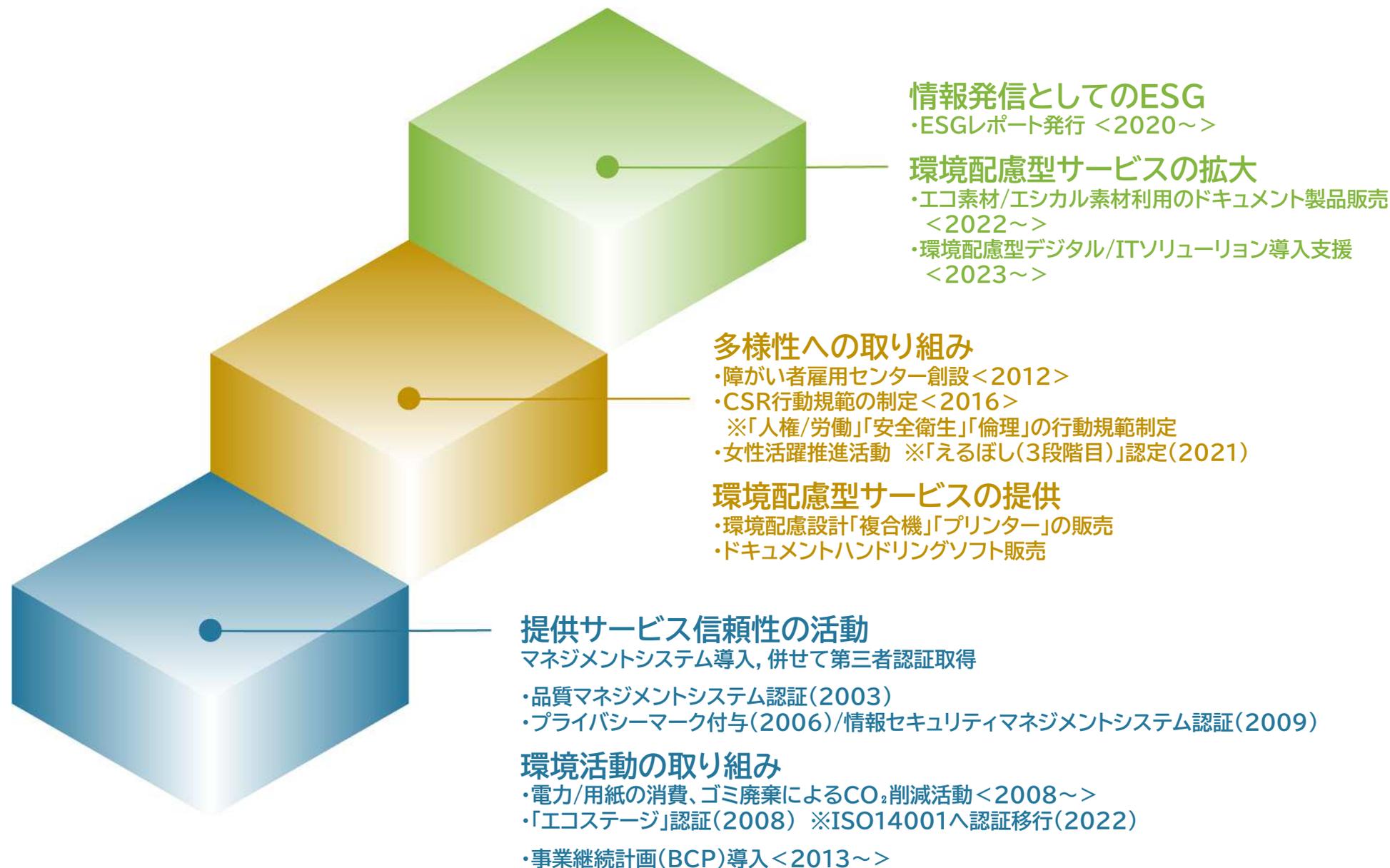
Governance(ガバナンス)

当社はESGを経営課題として捉えており、環境側面や企業の社会的責任を課題化し、目標管理活動として取り組んでおり、さらに人権やコンプライアンス、企業倫理等の従業員向け教育・啓発を実施しています。これらの活動は定期的に点検され、投資を含めた見直しを実施しており、マネジメントレビューや内部統制委員会等によってモニタリングしています。

また、当社の取り組みは継続的改善の機会として、CS調査や第三者認証制度による外部評価なども受けています。

ESGに対する詳細な取り組みは、[以下URLを参照してください。](#)
[環境経営への取り組み](#)
[働きやすい環境づくり\(ダイバーシティ\)への取り組み](#)
[障がい者雇用への取り組み](#)

ESG経営の取り組みの推移



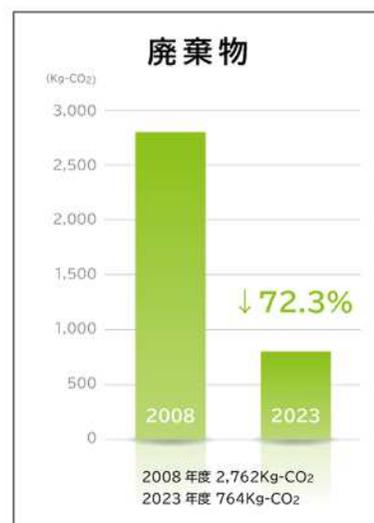
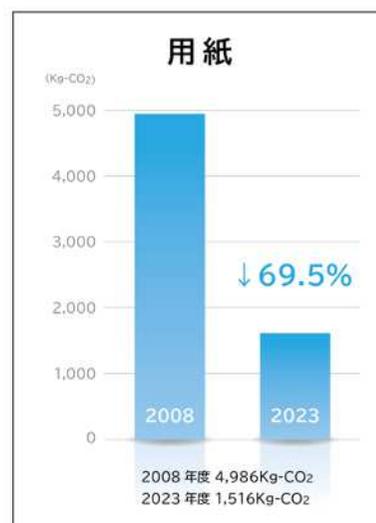
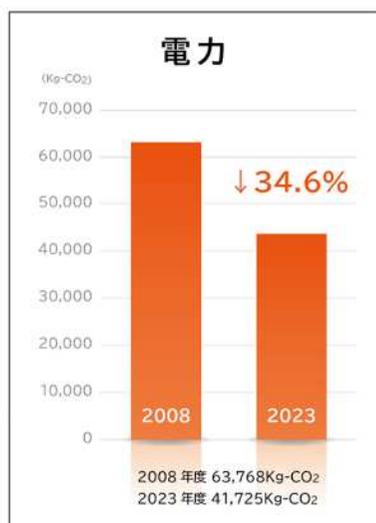
※()内は第三者認証取得年

2023年度ESG目標および実績

2023年度は環境側面「全社事業活動によるCO₂削減」、社会貢献「ポリオワクチン寄付」を重点管理項目に活動を推進、CO₂排出量は前年比12.3%削減、ポリオワクチンも関連団体を通じて192人分を寄付することができました。 ※CO₂排出量は測定を開始した2008年度対比でも、38.5%削減しています。

重点管理項目(全社)	管理特性/目標値	実績
全社事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量／前年度実績以下 ※前年度実績:50,156kg-CO ₂	44,005kg-CO ₂ 前年比12.3%削減
ポリオワクチン寄付 (社会貢献活動の推進)	ポリオワクチン寄付 ／100人以上	192人分

CO₂排出量の推移



*CO₂排出量は、以下の換算係数により算出しました。

【電力】環境省「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」電気事業者別排出係数一覧 令和6年提出用

【用紙】日本製紙連合会LCA小委員会「紙・板紙のライフサイクルにおけるCO₂排出量」を基に1枚当たりのCO₂排出量を算出

【一般廃棄物】
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/assessment/information/toshokohyo/publishdetail/353_kitaseiso_tosho_an.files/03202035320.pdf

2023年度ESG目標および実績(事業所別)

当社は事業所の事業および業務特性に基づいたESG目標管理を推進しています。

事業所	重点管理項目	管理特性/目標値	実績
本社	事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量(電力・用紙・廃棄物)／前年度以下 ※前年度実績:27,096kg-CO ₂	21,489kg-CO ₂
ニッカナビル	事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量(電力のみ)／前年度比▲2% ※14,712kg-CO ₂ 以下	14,936kg-CO ₂
蒲田営業所	環境関連商材の案内・販売	年間販売件数／36件以上	45件
西日本事業所 (京都事務所含)	事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量(電力・用紙・廃棄物) ／3,405kg-CO ₂ 以下 ※2021年度比▲20%	3,708kg-CO ₂
	ペットボトルキャップ・使用済み切手 ・プルタブの回収	各事業拠点からの回収／年間4回以上	13回
東京 ソリューション センター	環境配慮商品の販売拡大	エシカル商品販売件数／年間14件以上	22件
	工程内不良の削減(CHC※)	工程内不良件数／年間3件以内	1件
	障がい者職場体験実習の受入推進	職場体験実習受入回数／年間8回以上	21回

※ CHC(チャレンジドセンター)は、障がい者雇用促進を目的に2012年に設立した社内組織です。

2023年度の主な取り組み(オフィスソリューション)

当社は富士フイルムビジネスイノベーション社の特約店として、資材調達・生産・物流・利用・廃棄・資材の再利用に至る商品のライフサイクル全体において環境に配慮して設計された複合機・プリンターや、業務プロセス改善につながるサービスやソフトウェアのご提供に取り組んでいます。

2023年度はさらに、使用済み製品を資源として再利用した「リコンディションモデル(再生型機)」の販売を強化、オフィスソリューションを通じた“お客様の環境パフォーマンス向上”に取り組みました。

Apeos C3570



< 富士フイルムビジネスイノベーション提供 >

※ ApeosPortは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks 9.1



< 富士フイルムビジネスイノベーション提供 >

※ DocuWorksは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。



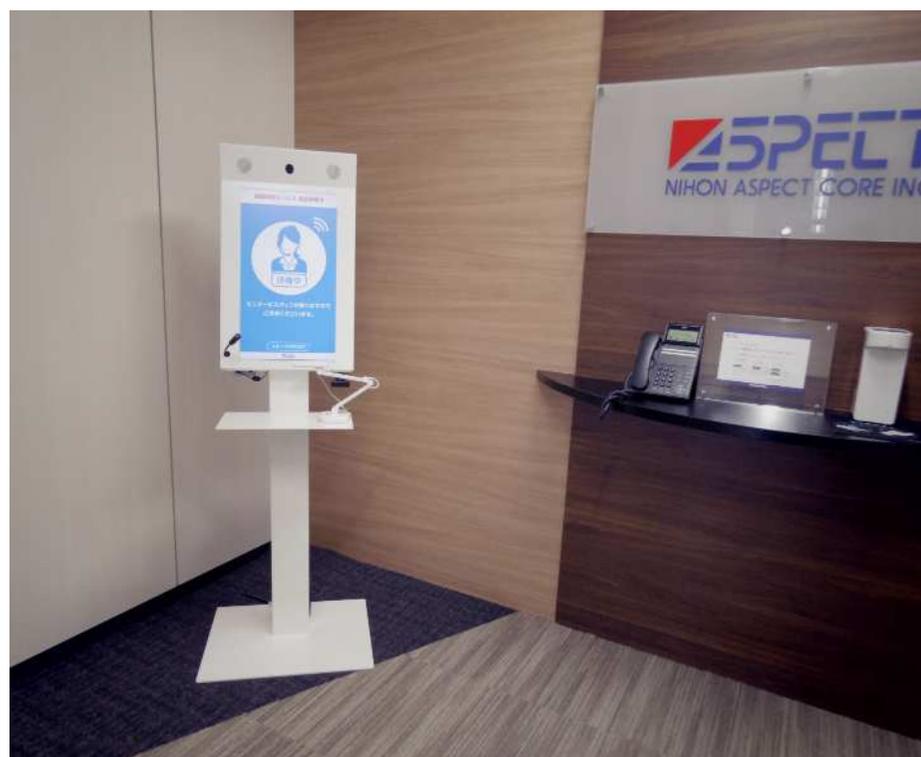
2023年度の主な取り組み(DX活用)

業務プロセスのIT化やデジタル化によって実現するワークフロー革新は、CO₂排出削減に貢献します。

当社が現在 導入支援している、

「AIチャットボット」は問合わせ時間を大幅短縮、「遠隔接客サービス」は接客の無人化を実現します。

これらは働き方の変革や、人やモノの移動が減ることによるCO₂排出削減を実現します。



当社のオフィス(エントランス)では接客を遠隔対応しています。



2023年度の主な取り組み(ドキュメントソリューション)

ドキュメントサービスでは商品に再生紙や環境負荷が少ない消耗品・資材などを利用することで、環境活動を進めています。さらに商品企画・仕様設計・資材調達・生産・デリバリーの各サイクルで、環境やエシカル消費(※)に配慮したドキュメントの商品化に取り組んでいます。

※エシカル消費:気候変動や貧困などの社会問題が深刻化する中、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動のこと、当社では、ドキュメント生産業務に障がいを持つ従業員も従事しています。

エシカルペーパーカタログ

紙のカタログをWeb版に切り替えています。Webカタログによって使用する紙の量を削減し、CO2の排出量を抑制しています。



エシカルペーパー・サンプル

<p>1 東北コットン CoC 米率:180g/m²</p> <p>東日本大震災の津波被害により稲作等が困難になった農地で雑草を処理し、さらに防蝕、商品化、販路までを一貫して行うことで東北での新規農業形態を支援する共同プロジェクトです。</p> <p>この用紙は「東北コットン」産地からの米を使用し、米主産県を応援しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>	<p>5 茶紙 米率:157g/m²</p> <p>緑茶を淹れる際に出す茶殻を使用し、紙の表面には茶殻が隠れていて視覚的に茶殻の混入を減らしています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>
<p>2 タンザニアコットン CoC 米率:180g/m²</p> <p>オーガニックコットン糸にする過程で生まれる、繊維くずを使った用紙です。タンザニアに住む方々が自立していくために、この用紙を選択することで、農家の方の雇用に繋がります。</p> <p>この用紙は「タンザニアコットン」糸を使用しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>	<p>6 パナペーパー (20%)CoC 米率:180g/m²</p> <p>今まで廃棄される「バナナの皮」を原料として使用した紙です。アフリカの貧困削減の為に雇用を生み出し人々の自立を支えるSDGsの17項目すべてに対して取り組み紙です。</p> <p>この用紙は「バナナペーパー」を使用しています。日本のフェアトレード認証でSDGsの17項目すべてに対応しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>
<p>3 kome-kami-FS 米率:157g/m²</p> <p>食用にできないお米で商業食糧に変わらなくなったお米などを紙素材にアップサイクル。環境負荷低減とCO₂削減を実現し売上の1%がフードバンクに寄付されます。</p> <p>この用紙は食べられなくなったお米を使った紙素材「kome-kami」を使用しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>	<p>7 ラフパガス 米率:210g/m²</p> <p>パガスとはサトウキビの搾りかすで一部利用されていますが、廃棄されているものも少なくありません。この本来廃棄されているパガスを利用し、紙の原料化をした紙です。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>
<p>4 竹紙100(ホワイト) 米率:157g/m²</p> <p>本材と比べて非腐やコストが抑えられますが、竹に新たな価値を見出し、健やかな竹材・森林の循環を促すために、日本の竹を紙の原料に活用し、地域経済にも大きく役立っています。</p> <p>この用紙は産地産竹100%を原料にした「竹紙100(ホワイト)」を使用しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>	<p>8 vegi-kami-FS にんじん 米率:157g/m²</p> <p>ニンジンのはぶき紙素材にアップサイクルした「フードロスペーパー」で、紙の表面にニンジンのふちぶりが残ります。売上の一部がフードロス削減活動に役立てられます。</p> <p>この用紙はにんじんのはぶきをアップサイクルした紙素材「vegi-kami」を使用しています。</p> <p>※この用紙は、東北FARM&FOODSイノベーションセンターが共同開発・提供しています。</p>

2023年度の主な取り組み(ドキュメントソリューション)

エシカルドキュメントで採用している「One Planet Paper(R)(バナナペーパー)」やバガス(サトウキビ原料)、間伐材・竹・食べ物などを原料とした“世界中の国や地域で生産されたエシカルペーパー利用”は、SDGs目標に貢献しています。また、当社はドキュメント1冊からのオーダーが可能なオンデマンドプリントであり、必要な数だけの生産を可能にした環境配慮型の生産システムを採用しています。

用紙は竹紙、台座は家具などから出る端材を再利用した木材を使用しています。カレンダーを使い終わったら、木製スタンド部分は写真立てやカード立てに利用できます。



竹紙
森林・里山保全、国土保全の観点から国内で間伐した竹を100%使用しています。



ユニバーサルデザインフォント
可読性、視認性、判別性に優れ、年齢や性別に関係なく、誰もが読みやすいフォントです。



木製スタンド (日本アスペクトコアオリジナルデザイン)
家具や建具制作から出る端材を再利用した木材を使用しています。

環境適応紙である間伐材配合の用紙を使用した紙製ファイルの販売。ビジネスシーンで多く使われているプラスチック製品に代わる環境にやさしい商品。



2023年度の主な取り組み(社会貢献活動)

当社はペットボトルキャップや使用済切手を関連団体へ寄付することで、途上国へのポリオワクチン提供をはじめとする社会貢献活動に取り組んでいます。

活動内容	 ペットボトルキャップの寄付	 使用済切手の寄付 (未使用ハガキを含む)	 災害備蓄品の寄贈 古本の寄付
団体名	キャップの貯金箱推進ネットワーク	世界の子どもにワクチンを 日本委員会	セカンドハーベスト・ジャパン
2023年度実績	13,535個(31.48kg) ポリオワクチン 15.6人分	4417枚(1.3kg) + ハガキ26枚 ポリオワクチン 177人分	計460食 計34冊
支援の ながれ	①各事業所に回収BOXを設置 ②対象事業所より当該団体に送付 ③当該団体により換金され、途上国にワクチンが届けられる 	①各事業所に回収BOXを設置 ②委員会が回収し当該団体に送付 ③当該団体により換金され、途上国にワクチンが届けられる 	①更新時期を迎える災害備蓄品の確認及び 書庫整理を通じて古本を回収 ②対象事業所より当該団体に送付 ③当該団体より福祉施設や支援を必要とする個人に届けられる 

2024年度ESG目標

2024年度は以下のESG目標を設定、その取り組みを進めています。

重点管理項目(全社)	管理特性/目標値
全社事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量/前年度実績以下 *前年度実績:44,005kg-CO ₂
ポリオワクチン寄付(社会貢献活動の推進)	ポリオワクチン寄付/120人以上

事業所	重点管理項目	管理特性/目標値
本社	事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量(電力・用紙・廃棄物)/前年度以下 *前年度実績:21,489kg-CO ₂
	3R(※1)活動によるCSR推進	3R活動目標(※1)
ニッカナビル	事業活動によるCO ₂ 削減	CO ₂ 排出量(電力のみ)/前年比▲2%(14,936kg-CO ₂ 以下)
	3R(※1)活動によるCSR推進	3R活動目標(※1)
	環境配慮商材(DX)の販売推進	提案件数/月2件以上
蒲田営業所	環境関連商材の販売推進	販売件数/年間36件以上
西日本事業所 (京都事務所含)	社会貢献活動の推進	3R活動目標(※1)
東京 ソリューション センター	エシカル商品の販売推進	販売高/販売高目標(※2)
	CHC(※3)工程内不良の削減	工程内不良件数/件数目標(※2)
	障がい者職場体験実習の受入推進	実習者数/10名以上

※1 3R:リデュース(廃棄削減)/リユース(続けて使う)/リサイクル(再利用)のこと

※2 上記記載の“目標”について、別途「定量目標」を設定しています。

※3 CHC(チャレンジドセンター)は、障がい者雇用促進を目的に2012年に設立した社内組織です。

Best partnership

昨日より今日を、
今日より明日をもっとよくしてゆく。

日本アспектコア株式会社